

2005年2月22日

## 当社高機能合わせガラス「ラミセーフセキュリティー・クールベール」が 「(仮称)名駅四丁目7番地区再開発ビル」に採用

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社(本社:東京、社長:門松正宏)は、「(仮称)名駅四丁目7番地区再開発ビル」(名古屋市中村区)のシースルーエレベーターに使用される高機能合わせガラスを受注しました。今回受注したのは赤外線(IR)カット機能を持った合わせガラス「ラミセーフセキュリティー・クールベール」で、受注数量は約7,000㎡です。なお、今回の「(仮称)名駅四丁目7番地区再開発ビル」は、赤外線カット機能を持った合わせガラスの使用面積で日本最大となります。

赤外線カット機能を持たせたガラスには、金属膜を表面にコートしたガラスや、着色したガラスがありますが、それらは赤外線をカットすると同時に可視光線をも減少させていました。今回受注した「ラミセーフセキュリティー・クールベール」は、可視光線の透過率を低下させることなく、日射による皮膚へのジリジリとした不快感を和らげる赤外線カット機能を加えた当社オリジナル商品で、2004年3月より発売しています。

商品の特長は、以下の通りです。

1. 赤外線(IR)カット機能を付加
2. 一般ガラスと同様の高い透明性(通常1枚ガラスとほぼ同等の可視光線透過率を実現)
3. 合わせガラス本来の基本性能
  - ・防犯性/安全性/防音性
  - ・紫外線(UV)カット機能

この「ラミセーフセキュリティー・クールベール」は当社の自動車用ガラスの技術を応用し、建築用途として開発したもので、当初より、戸建住宅のリフォーム用途として販売しています。今回は、シースルーエレベーターに求められる内部からの視界の良さ、また、内部の明るさを損なうことなく効果的に赤外線をカットすることでエレベーター内部の快適性、省エネ効果を実現できることが評価され、「(仮称)名駅四丁目7番地区再開発ビル」に採用されることとなりました。

当社は、今後も様々な新商品の開発を通して、ガラスの高機能化による室内環境の快適度向上を目指します。

以上

本件に関するお問い合わせ先 旭硝子(株)広報室長 川上 真一  
(担当:江東 TEL:03-3218-5259 E-mail:info-pr@agc.co.jp)

商品に関するお問い合わせ先 旭硝子(株)板ガラスカンパニーカスタマーセンター  
ナビダイヤル TEL:0570-001-555

【ご参考】

・(仮称)名駅四丁目7番地区再開発ビルの概要

建築地	名古屋市中村区名駅四丁目7番他
建築主	東和不動産(株)、トヨタ自動車(株)、(株)毎日新聞社
設計	(株)日建設計
施工	竹中・大林・鹿島・清水共同企業体
ガラス工事	竹甚板硝子(株)
建築面積	約8,100㎡
延床面積	約194,000㎡
階数	地下6階、地上47階
工期	2004年1月着工～2006年9月完成 (グランドオープンは2007年春の予定)



(完成予想図)

### ・ラミセーフセキュリティー・クールベールの性能

	可視光線透過率	日射熱取得率*	紫外線カット率	参考材料価格
ラミセーフセキュリティー・クールベール SG-30	84%	0.66	99%以上	26,250 円/m <sup>2</sup> (FL3/中間膜 0.76 ミリ/FL3)
ラミセーフセキュリティー SG-30	89%	0.81	99%以上	21,000 円/m <sup>2</sup> (FL3/中間膜 0.76 ミリ/FL3)
フロートガラス	89%	0.85	43%	6,090 円/m <sup>2</sup> (FL5)

\* 日射熱取得率：ガラス面に入射する日射を 1 とした場合の室内に流入するエネルギーの比率を表します。

赤外線が日射熱の大きな原因となっており、それをカットすることで日射熱の取得を減らすことができます。

### ・ラミセーフセキュリティー・クールベールの赤外線・紫外線カットの仕組み

